



身近な願い、将来の願いを込めて！

【第 66 回湘南ひらつか七夕まつり 開催】

7月8日（金）～10日（日）に第66回となる湘南ひらつか七夕まつりが平塚駅北口の湘南スターモールなどを中心に開催された。七夕まつりは、中国の牽牛織女の伝説に基づいて始まり、日本へは星まつりとして伝えられた。はじめは宮廷貴族を中心とする都の生活のうちに受け継がれ、書道の上達や恋愛の成就を祈る風習となった。江戸幕府はこれを年中行事に取り上げ武家の風習となり、次第に庶民へと普及、各地域によって特色ある七夕まつりとして現在に至っている。

平塚の七夕まつりは、戦後商業振興として始められたもので、活発な商業力に裏付けられた日本一といわれる七夕飾りの豪華さに特色がある。毎年、約 500 本の飾りが通りを埋め尽くし、中には 10mを超える大型飾りもあり、その年の風物等を取り入れた多くの飾りが観衆を魅了している。（湘南ひらつか七夕まつり公式ホームページより）本校では、生徒会本部を中心に生徒に呼びかけ、生徒会室前や駐輪場前、通用門などに笹竹を用意、その笹に生徒が思い思いの願いを書いた短冊をつるし、七夕まつりを盛り上げている。

「〇〇で全国1位になる」「〇〇で優勝する」「将来、勉強して〇〇になる」など、身近な願いから将来の願いに至るまで、風にたなびく色とりどりの短冊一つ一つが生徒の願いとともにキラキラと輝いている。私も生徒の安全を祈願し、そっと一つ短冊をつるした。



【ウチの学校が〇〇な件～ハイスクール情報誌 HP 夏号掲載～】

平成 28 年 6 月 7 日、神奈川新聞社発行の HP（エイチピー）No.028 号に本校美術部・城所実花さんのイラストが掲載された。平塚中等教育学校の「あるある」について 5 つの内容をイラストを通して伝えている。1 つ目はメガネ率、2 つ目は施設の自動化、3 つ目は通学かばん、4 つ目はエキスパート、5 つ目は湘南はどこまで！？、その他、J・POP バラードの校歌や学年の見分け方など、本校の特徴となる点を上手に表現している。一度、今回の HP（エイチピー）を手に取り見て欲しい。

